

令和3年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 114

千葉県立君津高等学校 全日制の課程 園芸科

1 期待する生徒像

基本的な生活習慣が確立されており、次のいずれかに該当する生徒

ア 園芸に関して興味があり、将来、農業またはそれに関連する進路を希望していること。

イ 学習意欲が旺盛で、明確な目標を持って学校生活を送る意志があること。

ウ 生徒会活動、ボランティア活動や地域の活動等で優れた取り組みを行い、入学後も引き続き活動する意志があること。

エ 部活動に積極的に参加し、入学後も引き続き活動する意志があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査 (面接)	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：約10分
(4) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔185点満点〕

アの数値に、イ及びエについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3か年皆勤である場合または、3年間の欠席日数の合計が0～5日の場合は加点する。 3年間の欠席日数の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つ以下である場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録	学級会長及び副会長、生徒会役員、委員会の委員長について加点する。
オ 部活動の記録 及び特記事項	部活動の部長及び副部長、県大会レベル以上に出場またはそれと同等と判断される賞を受賞した場合は、総合的に判定する際の参考とする。
カ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査〔60点満点〕

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価する。aを5点、bを3点、cを1点、dを0点、とし、3名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。

3名の評価者が全項目cと評価した場合や、dが含まれる評価の組合せが1つでもある場合は審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
エ 面接に臨む態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が身に付いている。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願理由	本校を志願する理由を確認し、総合的に判定する際の参考とする。
イ 自己アピール	特に優れた内容等を確認し、総合的に判定する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「面接の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

学力検査の成績	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K＝1）	加点	面接	
500点	135点	50点	60点	745点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。